



はっ た まさ とし  
**八 太 正 年**

じゅうみんしゅうとうしぎだん  
**自由民主党市議団**

### 近鉄久居駅周辺の危険踏切の解消を

**問** 近鉄久居駅周辺の危険踏切の解消については、盆野副市長が政策財務部長の時からお願ひしてきた課題である。

この踏切は、1時間に最高で32分間も遮断機が下りている。

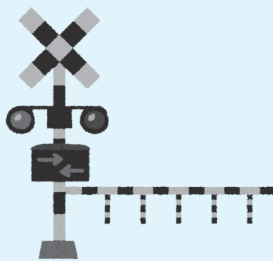
道路整備による交通渋滞の緩和では何の解決策にもならない。

鉄道高架化による危険踏切の解消を行わずして、安全・安心のまちづくりをどのように実現するのか。

**答** 県道上浜高茶屋久居線の桃園第10号踏切は、自動車ボトルネック踏切として国が公表した、市内5つの踏切のうちの1つである。

久居駅周辺の鉄道高架化に係る御要望については、現在は、将来の課題として十分に受け止めている。

連続立体交差事業は、非常に多くの事業費が掛かること、また、大きなまちづくりの議論を経て実施しなければならないことを考えると、この課題は、非常に重いものと捉えている。



### ●その他の質疑・質問●

- 青木副市長の陳謝文について
- 火薬使用の工事現場付近の民家への被害の補償について
- 矢頭トンネルからのズリ（建設資材）の横流しについて
- 新リサイクルセンター工事におけるコンクリートのひび割れについて



▲鉄道高架化によって、久居駅周辺の危険踏切の解消を



わた なべ てる かず  
**渡 辺 晃 一**

つしみんかい  
**津市民の会**

### 市民との連携は市民活動保険でさらに強化を

**問** 多くの市民が市と連携して地域社会活動、社会福祉活動、社会体育活動、公民館活動、青少年育成活動等、各種活動を行っている。その活動内容を協議する際に「ケガしたら誰が責任とるの」との意見がよく出る。先進市では「市民社会活動補償保険」に市で加入している。津市でも市民活動時の安心の担保として一括で保険加入し活動環境を整え、さらなる連携強化を。

**答** 津市の市民活動における損害賠償等に対する保険の加入状況は、公民館事業・防災訓練・清掃ボランティア活動等、市が関与したものに限られており、自治会や住民自ら自発的に取り組まれる活動は市が加入する保険の対象となっていない。

他市では市が一括して市民活動に対する保険に加入している自治体もある。その状況を確認すると「市民活動の幅が広がった」との意見もある一方で「事故の発生状況がさまざまであり、補償の対象となる活動が判断することが難しい」「市が望む保険対象や保険内容を扱う保険会社が少ない」などの課題もあることから、さらに他市の事例を調査し、市民が安心して活動できる保険のあり方を整理していく。

### ●その他の質疑・質問●

- 上水道事業の今後の方向性について、災害対策事業、津市第2次水道計画の内容は
- 災害に強い森林づくりについて、地籍調査、人材育成等、今後どのように進めていくのか
- 通学路の安全確保について、ガードレールや縁石で車道と区別して通学路の安全確保を
- 県道中川原橋の進捗（<sup>しんちよく</sup>予算1億300万円の内訳、要望）など



▲よく事故がある地域社会活動（自治会活動）の草刈り作業